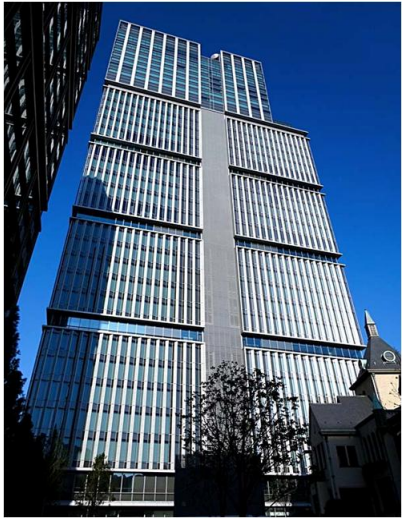


外観



オフィス・ホテル・商業施設・カンファレンスからなる「紀尾井タワー」。ホテルは眺めのよい30～36Fの高層階に位置し、客室数を250室に絞った宿泊特化型のハイグレードなホテル。

ロビー階 女性トイレ全体



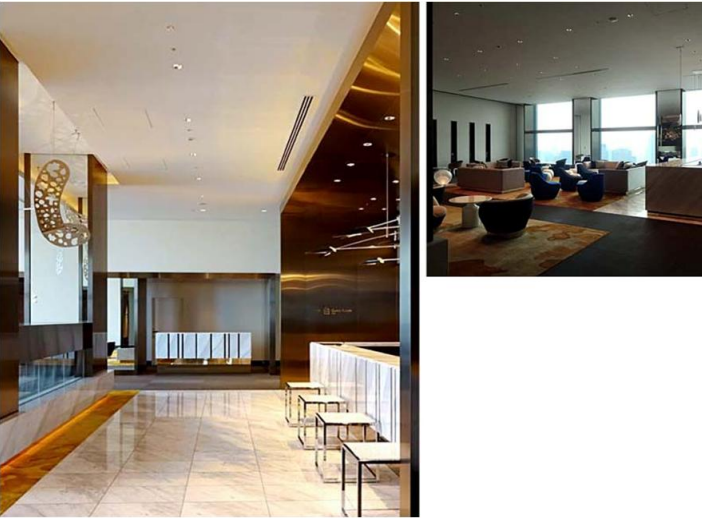
ダークブラウンのパネルと大理石の床材を組み合わせた、重厚感を湛えたシックな空間。落ち着いた使用できるシッティングタイプのパウダーコーナーを完備。

ロビー階 多機能トイレ



車いす使用者などさまざまな利用者に配慮し、多機能トイレとしての使いやすさと同時に空間の美しさと快適さを追求。RESTROOM ITEM 01を採用し、オストメイト対応マルチバックも完備している。

レセプション・ロビー



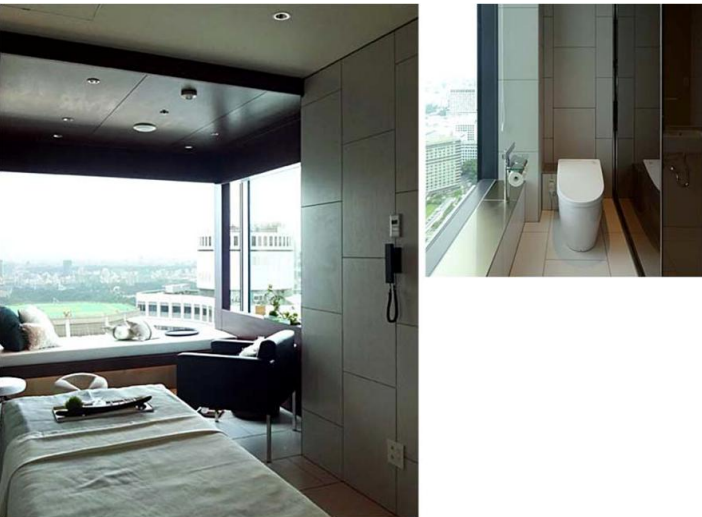
レセプションエリアは、デザインコンセプトの「Levitation（浮揚感）」を感じられ、訪れたゲストを、これからの滞在への期待感と高揚感で包む、ステータス感にあふれた見晴らしのよい空間となっている。

ロビー階 女性トイレ



洗面コーナーは、ベッセル式の洗面器と自動水栓およびオートソープディスペンサーを組み合わせている。大便器ブースは、シンプルなデザインのウォシュレット一体型便器ネオレストと擬音装置音姫を設置。

スパ



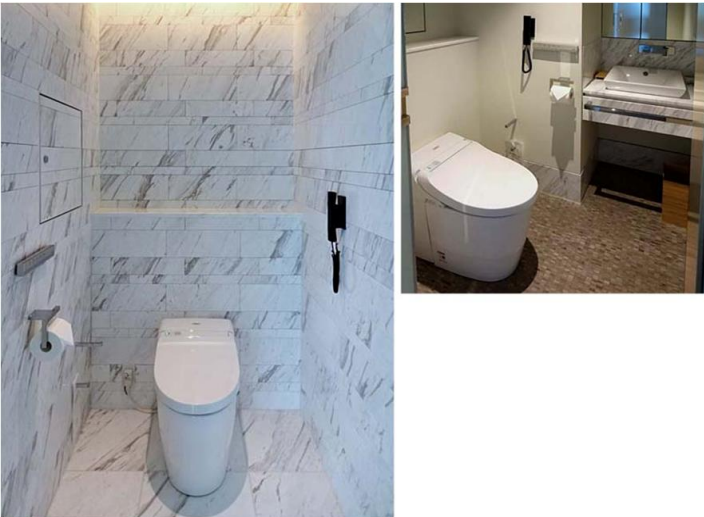
地上約140mの高層階に位置するスパのトリートメントルームのトイレは、大開口に面し、この上ない開放感のもと、眼下の景色を堪能できる。シンプルなデザインのウォシュレット一体型便器ネオレストを設置。

スイートルーム



148㎡の広さを有する最高級グレード客室「ザ・プリンスギャラリー スイート」。ギャラリーの名を冠するにふさわしい空間で、極上の眺望が味わえる。中央に水まわりのコアをまとめ、リビングと寝室を快適に分離させた。

スイートルーム トイレ



(左) 寝室横の水まわりスペース内の個室タイプのトイレ。アーティスティックに組み上げられたホワイトマーズの石材がスタイリッシュな空間を創出。(右) リビングルーム併設の個室完結タイプのトイレ。

建築概要

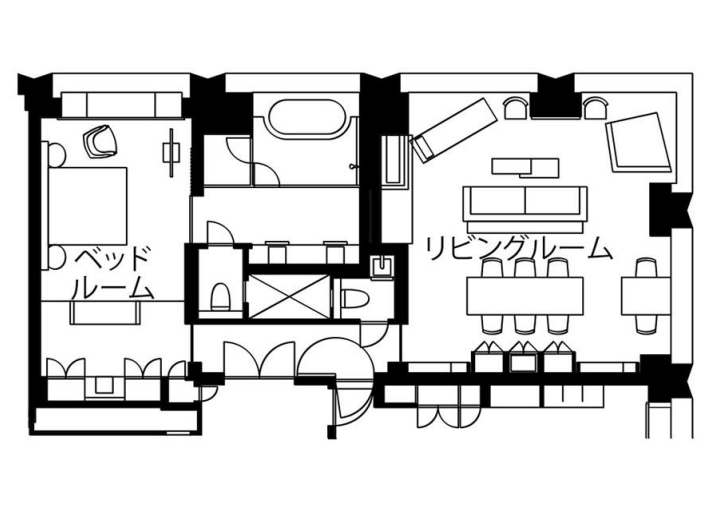
名 称	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町
所 在 地	東京都千代田区紀尾井町1-2
事 業 主	株式会社西武プロパティーズ
運 営	株式会社プリンスホテル
設 計	株式会社日建設計
インテリアデザイナー	ロックウェル・グループ・ヨーロツパ
施 工	鹿島・鉄建・熊谷建設共同企業体
竣 工 年 月	2016年5月

スイートルーム 水まわり



水まわりはトイレを独立させ、浴室に広い洗い場を設けた日本スタイル。個室トイレ、2ボウル洗面コーナー、洗い場付きの浴室、ミストサウナルームの構成。ビューバスからは眼下の美しい夜景が満喫できる。

スイートルーム 客室全体図面



水まわりの特長

＜建物概要＞
「東京ガーデンテラス紀尾井町」は、グランドプリンスホテル赤坂の跡地に再開発された複合施設。オフィス・ホテル・商業施設・カンファレンスからなる「紀尾井タワー」、旧グランドプリンスホテル赤坂旧館として使われていた旧李王家東京邸を保存・復原した「赤坂プリンス クラシックハウス」、賃貸集合住宅「紀尾井レジデンス」の3棟が建つ。地上36F建ての「紀尾井タワー」の30-36Fを占める、「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」は、客室数250室のプリンスホテルで最上級と位置付けられるホテル。
「Levitation（浮揚感）」と「Framed Kaleidoscopic View（額縁で切り取られた万華鏡のような景色）」をデザインコンセプトに、西洋の現代的な空間に、プリンスホテルが培ってきたホスピタリティの精神が見事に融合されている。
＜水まわりの特長＞
レセプション・ロビー階のトイレは、ダークブラウンのパネルと大理石の床材を組み合わせた、重厚感を湛えたシックな空間。シッティングタイプのパウダーコーナーを完備している。最高級グレード客室の「ザ・プリンスギャラリー スイート」の水まわりは、日本文化を感じてもらいたいとの思いから、トイレを独立させ、浴室に広い洗い場を設けた点が特徴。ビューバスからは、最上のおもてなしにふさわしい、都心の美しい夜景を眺めることができる。